



株式会社 久世

2024年3月期 第2四半期

# 決算説明会

2023年11月

代表取締役社長 久世真也



証券コード：2708



## 目次

- 2024年3月期第2四半期連結決算概要
- 100周年に向けて

# 2024年3月期第2四半期連結 決算概要





## コロナ禍の影響も収束し、市場も回復。

### 外部環境

- コロナの5類移行による市況の回復
- 人手不足と人件費の上昇
- 円安や世界情勢の変化に伴う諸物価の高騰
- 2024年問題による影響の拡大

### 業績のポイント

- 法人需要やインバウンド等の観光需要の回復により、売上が増加
- お客様の課題解決に繋がる提案と高付加価値商品の販売を強化
- 海外輸出も堅調に推移
- コスト管理の継続

## 連結決算概要

- 法人需要やインバウンド等の観光需要増により、外食・中食市場が回復し、売上増加。
- 顧客ニーズに沿った提案と高付加価値商品の販売を強化。
- 経費は増加傾向にあるもののコスト管理の継続により、増益を達成。

(単位：百万円)

|                      | 2023年3月第2四半期 |       | 2024年3月期第2四半期 |              | 増減額   | 増減率    |
|----------------------|--------------|-------|---------------|--------------|-------|--------|
|                      | 実績           | 構成比   | 実績            | 構成比          |       |        |
| 売上高                  | 26,192       | 100%  | <b>31,546</b> | <b>100%</b>  | 5,354 | 20.4%  |
| 売上総利益                | 5,734        | 21.9% | <b>7,065</b>  | <b>22.4%</b> | 1,331 | 23.2%  |
| 販売費及び一般管理費           | 5,675        | 21.7% | <b>6,158</b>  | <b>19.5%</b> | 483   | 8.5%   |
| 営業利益                 | 59           | 0.2%  | <b>907</b>    | <b>2.9%</b>  | 848   | —      |
| 経常利益                 | 85           | 0.3%  | <b>933</b>    | <b>3.0%</b>  | 848   | 989.0% |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 104          | 0.4%  | <b>1,239</b>  | <b>3.9%</b>  | 1,135 | —      |

### 売上高

宴会や接待などの法人需要や、ホテル・空港などを含めたインバウンド需要の増加により、売上高は前年同期比20.4%増となりました。

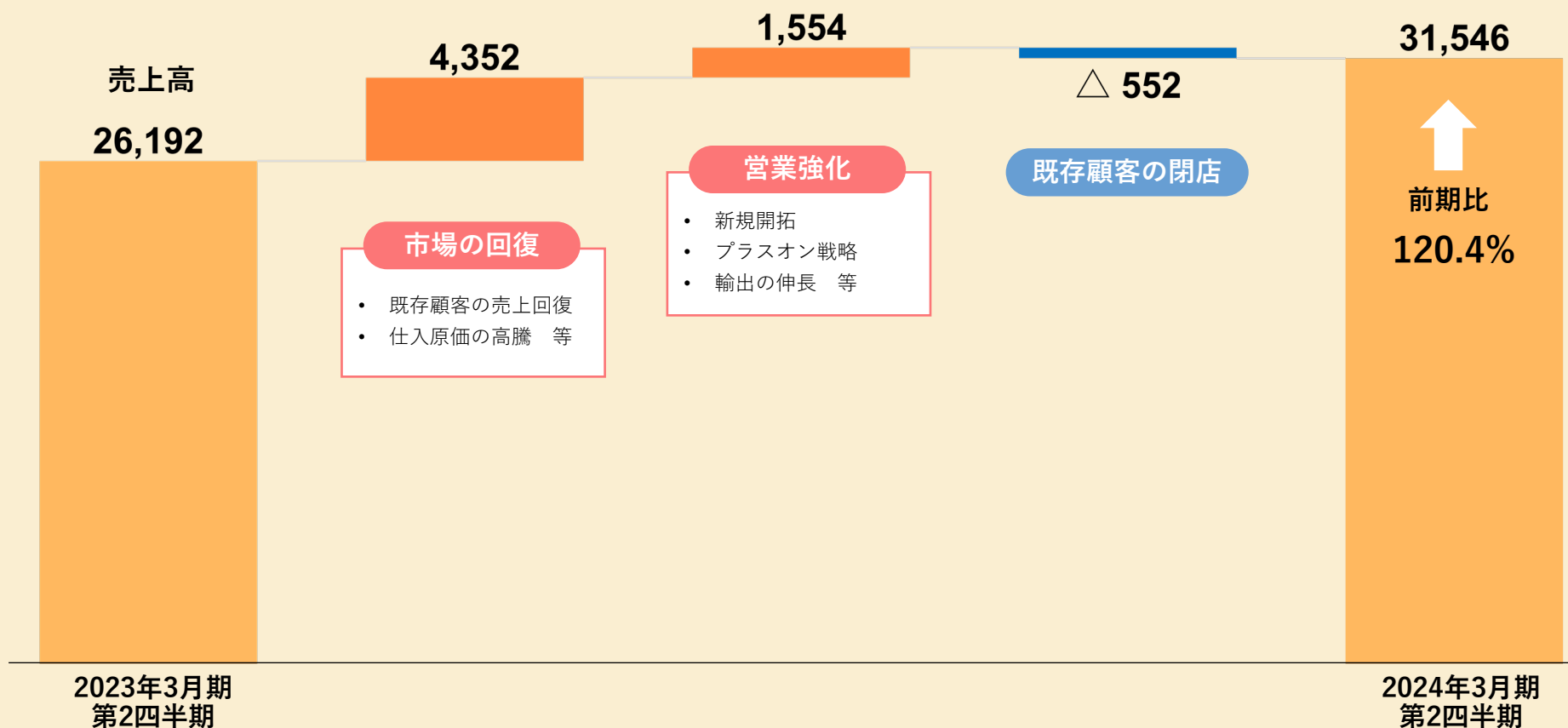
### 営業利益

提案営業の強化と損益分岐点の低減、予定していた修繕や投資の一部順延により、営業利益は9億7百万円となりました。

## 売上高の増減要因（前期比）

- 市場の回復や高付加価値商品の販売強化により売上増。
- 既存顧客の閉店などに伴う売上減。

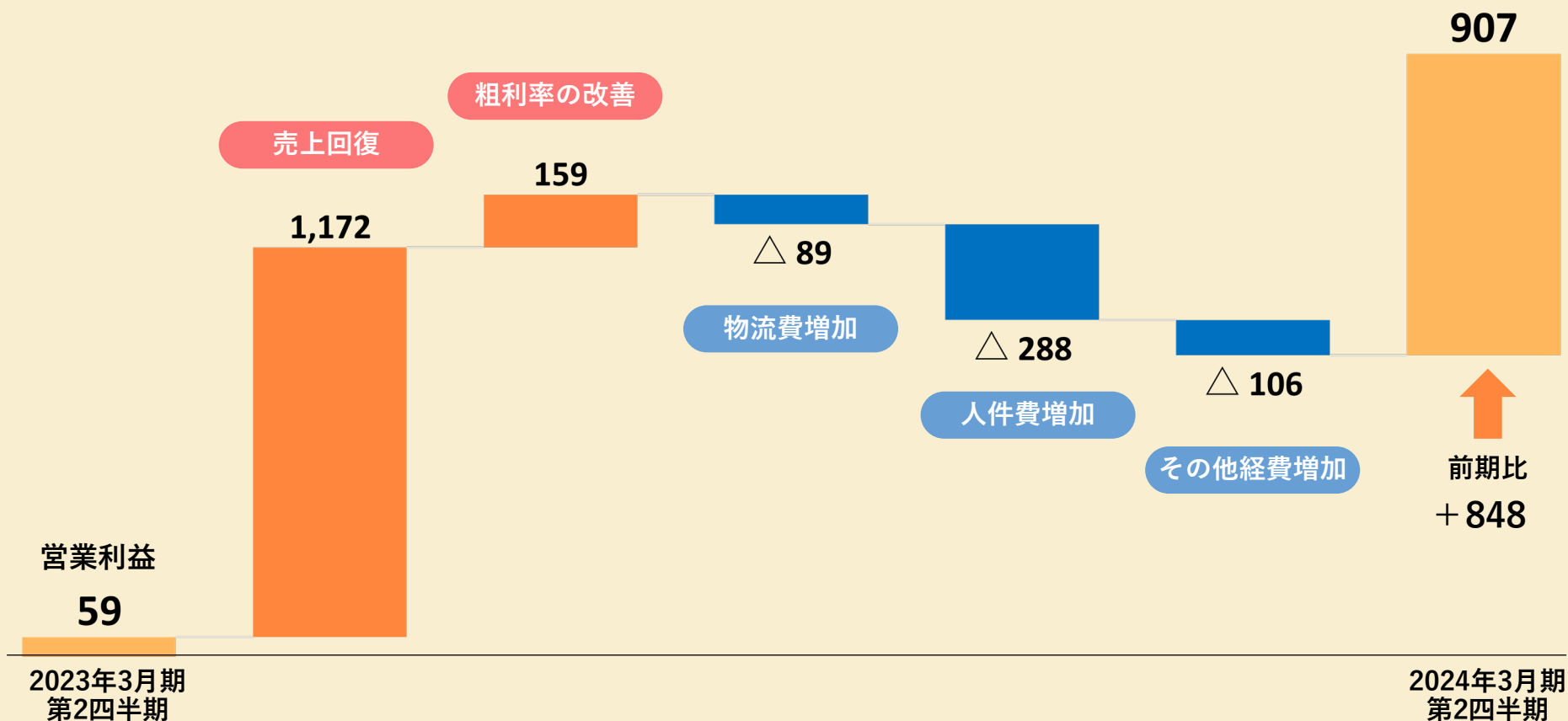
（単位：百万円）



## 営業利益の増減要因（前期比）

- 売上回復とコロナ禍で進めてきた損益分岐点の低減が奏功し、増益。
- 予定していた修繕や投資の一部を第3四半期以降に順延。

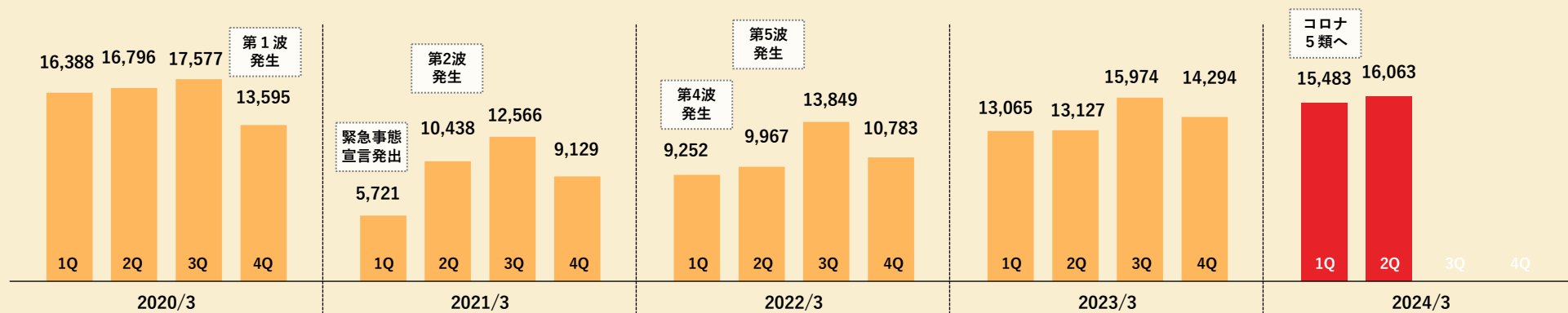
（単位：百万円）



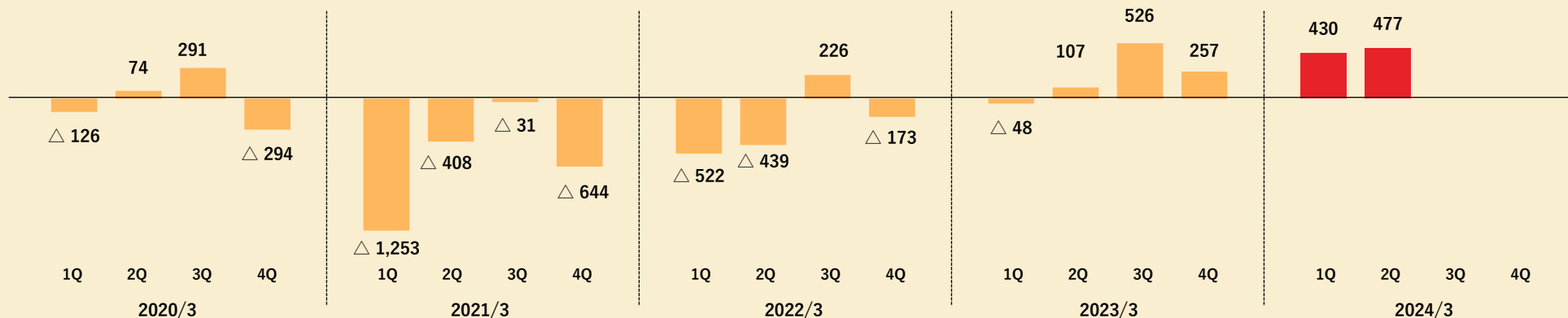
# 四半期別 売上・営業利益の推移

- 売上高は、コロナ前と比べて約95%の水準まで回復。
- 営業利益は、コロナ前を超え大幅増加で推移。

## ■ 売上高 (単位：百万円)



## ■ 営業利益 (単位：百万円)





## 連結貸借対照表

- 利益増により、自己資本比率は着実に回復。
- 借入金を約4.5億円圧縮。コミットメントライン契約30億円の枠は未使用。

(単位：百万円)

|                | 2023年3月期      | 2024年3月期第2四半期 | 増減率          |
|----------------|---------------|---------------|--------------|
| <b>資産の部</b>    | <b>20,794</b> | <b>24,499</b> | <b>17.8%</b> |
| 流動資産           | 14,729        | 17,346        | 17.8%        |
| 固定資産           | 6,064         | 7,153         | 17.9%        |
| <b>資産合計</b>    | <b>20,794</b> | <b>24,499</b> | <b>17.8%</b> |
| <b>負債の部</b>    | <b>16,348</b> | <b>18,608</b> | <b>13.8%</b> |
| 流動負債           | 12,374        | 14,623        | 18.2%        |
| 固定負債           | 3,973         | 3,985         | 0.3%         |
| <b>純資産の部</b>   | <b>4,446</b>  | <b>5,890</b>  | <b>32.5%</b> |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>20,794</b> | <b>24,499</b> | <b>17.8%</b> |

### 資産の部

現預金残高  
6,190百万円 (+46.8%)

### 負債の部

借入金残高  
4,428百万円 (△9.4%)

### 自己資本比率

2.6pt改善

- ・ 親会社に帰属する  
四半期純利益  
12億39百万円

|               | 2022年3月期     | 2024年3月期第2四半期 | 増減             |
|---------------|--------------|---------------|----------------|
| <b>自己資本比率</b> | <b>21.4%</b> | <b>24.0%</b>  | <b>+ 2.6pt</b> |

# 連結キャッシュフロー計算書

## 営業活動CF

**31億78百万円**  
(前年同期 22億59百万円)

### 主な増減要因

- 税金等調整前四半期純利益 10億1百万円
- 減価償却費 1億56百万円
- 売上債権の増加 △1億73百万円
- 仕入債務の増加 24億84百万円
- 棚卸資産の増加 △3億82百万円

## 投資活動CF

**△7億2百万円**  
(前年同期 △6億11百万円)

### 主な増減要因

- 有形固定資産の取得 △6億36百万円
- 無形固定資産の取得 △30百万円
- その他支出 △34百万円

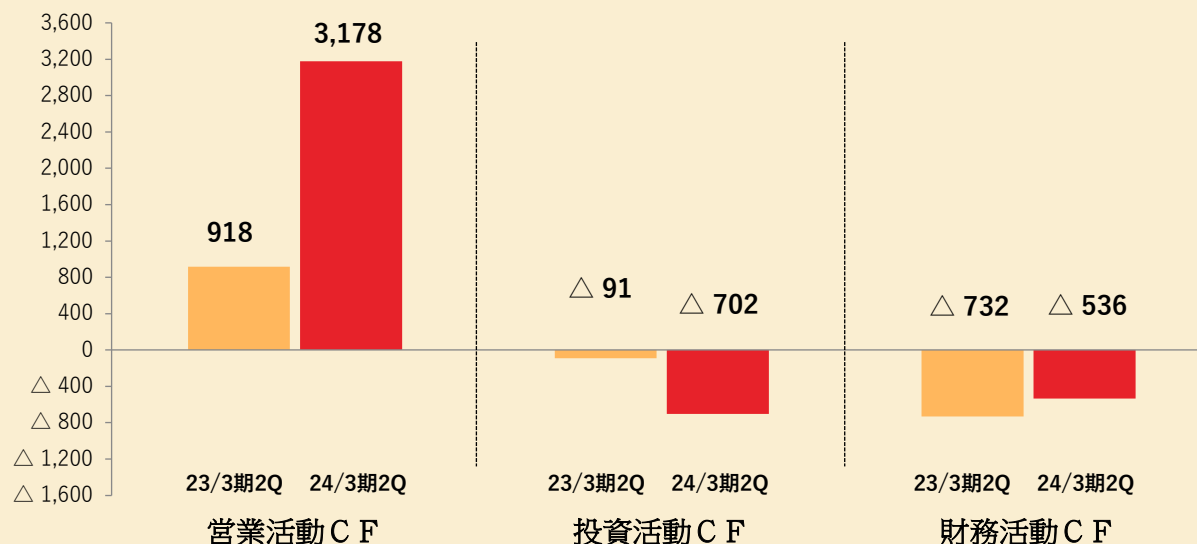
## 財務活動CF

**△5億36百万円**  
(前年同期 1億96百万円)

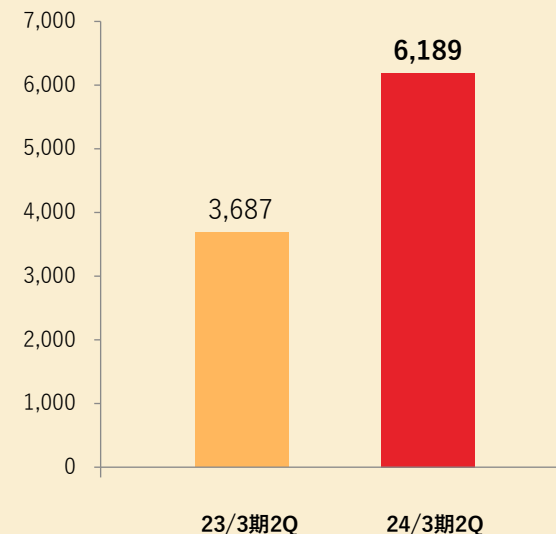
### 主な増減要因

- 短期借入金の減少 △4億68百万円
- 長期借入金 5億12百万円
- 長期借入金の返済 △5億2百万円

(単位：百万円)



## 現金及び現金同等物の期末残高

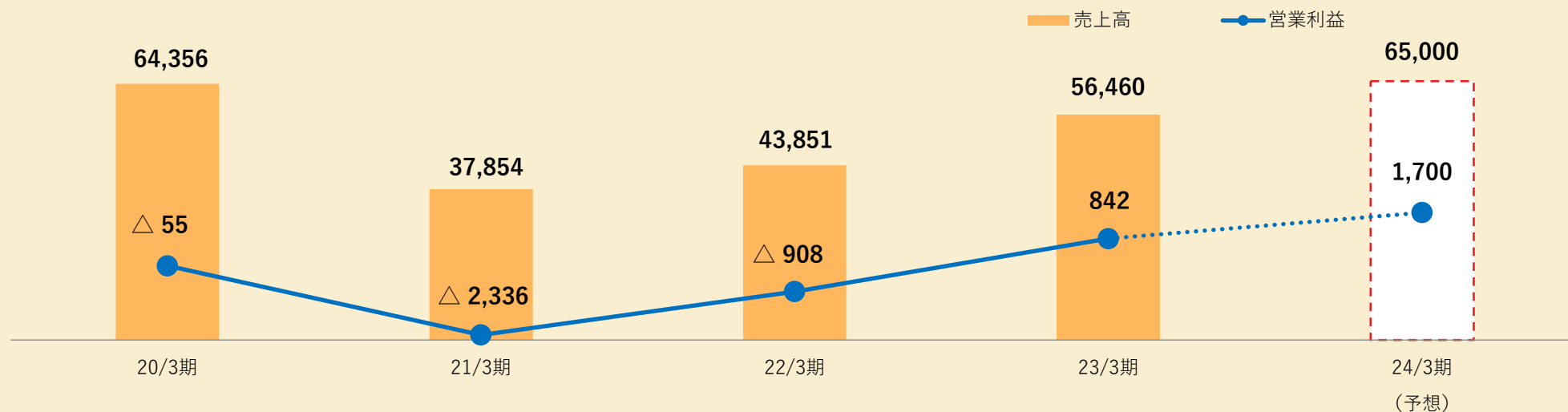


## 2024年3月期連結業績予想

- 第2四半期の夏期休暇シーズンも好調に推移したため、実績値に基づき上方修正。
- 今後、原材料の高騰や電気料金や人件費などのコストの上昇、さらに今後の成長を見据え、修繕や投資に適切なコストを投じる。

(単位：百万円)

|                  | 2023年3月期 |      | 2024年3月期      |             | 増減額   | 増減率    |
|------------------|----------|------|---------------|-------------|-------|--------|
|                  | 実績       | 構成比  | 予想            | 構成比         |       |        |
| 売上高              | 56,460   | 100% | <b>65,000</b> | <b>100%</b> | 8,540 | 15.1%  |
| 営業利益             | 842      | 1.5% | <b>1,700</b>  | <b>2.6%</b> | 858   | 101.8% |
| 経常利益             | 900      | 1.6% | <b>1,730</b>  | <b>2.7%</b> | 830   | 92.1%  |
| 親会社株主に帰属する当期期純利益 | 832      | 1.5% | <b>1,740</b>  | <b>2.7%</b> | 908   | 109.0% |



# 100周年に向けて



## 久世の役割

# 頼れる 食のパートナー

食は最も身近なエンターテインメント



多様で  
豊かな食

「多様な食材」を「効率良く」  
提供する

運ぶ

つくる

考える

パッション

行動

オペレー  
ション

“食を通じた  
コミュニケーションは  
普遍的なもの”

食を通じたコミュニケーションは、  
人と人が触れ合いたい、わかり合いたいという  
本質的な欲求を満たす場であり、  
信頼関係を築くうえで必要なもの。  
私たちは、運ぶ、つくる、考えるを通じて、  
人々の楽しい、豊かな食を支えるパートナーでありたい。

# 100周年に向けた長期ビジョン

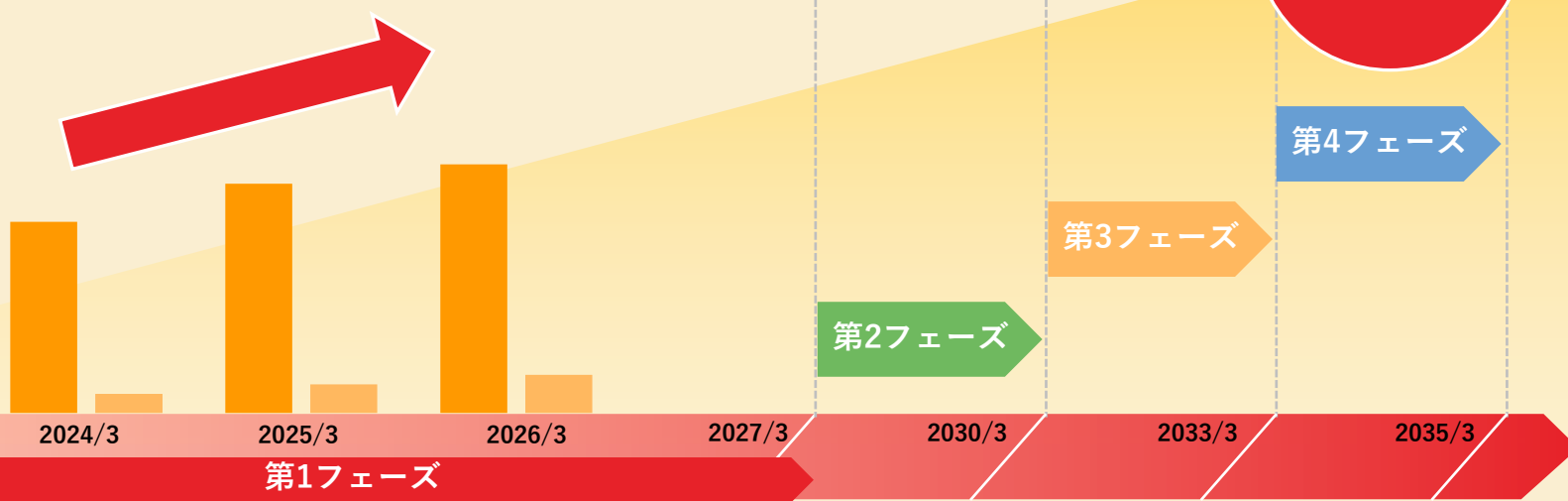
## 長期経営テーマ

100周年の先を見据え、時代変化に対応した

## 『持続可能で質的な成長』

頼れる食の  
パートナー

2035年3月期  
100周年



対応すべき  
取り組み

DX化      女性活躍  
業務改善      仕組み化      SDGs      参加型経営      社会貢献      次世代リーダー

予想される  
社会の変化

2024年問題      国際情勢      AI      災害      技術革新      人口減少  
経済変化      サステイナブルな社会      自動運転

100周年に向けた長期ビジョン

第1フェーズ

# 成長への再スタート 事業基盤の再構築

株式会社久世は2035年に100周年を迎えます。  
 コロナ禍により、食に関わる業界は大きく変化しました。  
 私たちも、食の役割を考え直すきっかけともなり、  
 食が人にとって本質的に必要なものであると改めて認識しました。  
 新たな取り組みとともに100周年を目指します。

# 第1フェーズの取り組み

## 1st PHASE

### 3つの基本施策

関東集中

資源集中し  
地域密着化

機能強化

KUZEX/  
低温物流の  
軸展開

プラスオン

JFSA、素材、  
酒飲料の提案

### 強化する市場

フード  
サービス

観光  
レジャー

中食惣菜

### 投資施策

人財

物流

情報  
システム

### 未来を創る5つの施策

EC  
事業

DX化  
推進

商品  
開発

海外  
事業

グループ  
シナジー

## NEXT PHASE



# 3つの基本戦略

## 関東集中

- 創業以来、関東を基盤とした顧客や仕入先のネットワークがある。
- 大きな経済圏である関東地方に密着した営業活動を強化する。



- 中京地区における業務提携を深化させ、サカヅコーポレーションに商圏を譲渡
- 資源を関東に集中

## 機能強化

- 強みである低温物流の軸を展開してEC事業を拡大
- 顧客との相互コミュニケーションを図る、プラットフォーム『KUZEX』を拡充。
- DX化の推進により省力化と業務の効率化を向上。



- 『KUZEX』の採用顧客数の増加とともに受注構成比が向上
- EC物流受託における取り扱い荷量増
- ECへの食材販売堅調

## プラスオン

- 価値の向上、収益の確保、生産性の向上などのお客様の抱える課題にプラスオンで提案。
- 酒類／飲料などの価値ある素材や便利な商品を提案し、ワンストップを実現する。
- グループシナジーも発揮していく。



- インサイドセールスにより付加価値商品や強化商品の売上構成比が向上
- 久世フレッシュ・ワンとの共同営業実施

## 強化する市場

各々の市場の相互ノウハウを蓄積し、ポートフォリオのバランス化を図り、事業基盤を強化。  
各市場の課題解決に繋がる価値ある商品と情報提供に尽力する。



- 既存の強みを生かして拡大
- 洋食、イタリアン、和食の商品ラインナップ強化

- 価値向上につながる外食ノウハウの提案  
(惣菜、事業所給食、CK、ベンダー等)

- 日本の重要産業として一層の強化を図る  
(ホテル、空港、温浴施設、スポーツ施設等)

# 投資戦略



## 人財

人財育成  
エンゲージメント向上



## 物流

インフラ整備  
機能強化



## 情報システム

利便性・生産性の向上  
DX化、基幹システム

経営を支える3つの資源に対して  
投資を検討・実施

# 未来を創る5つの施策

## EC事業

- 物流受託を行うとともに物流手段の多様化を提供。
- ECプラットフォームへの商品提案とEC販売のノウハウを吸収。



- 物流受託が堅調に推移
- ECプラットフォームへの販売伸長

## DX化推進

- お客様の利便性向上を目的として、双方向型のコミュニケーションサービス『KUZEX』を構築。RPAやSaaSシステムの活用を含めてDXを推進。



- 『KUZEX』の受注構成比向上
- 物流業務における動態管理等、SaaSシステムの導入

## 商品開発

- 強みである商品開発力をいかして、変化するニーズを捉えて商品開発を行っていく。
- 共同購買組織「JFSA」による購買力の発揮、商品開発。



- JFSAとの商品開発連携強化
- グループ各社における自社PB強化
- 産地開拓

## 海外事業

- 現地卸との連携を図り、アジアを中心に、北米エリアにも輸出を拡大。
- グループとして、中国事業の収益改善、新規開拓。製造事業の強化。



- 北米向けの輸出堅調
- 処理水問題により中国事業とアジア向け輸出が鈍化

## グループシナジー

- 商品開発の共有や共同配送など、グループシナジーの発揮。
- 人材交流による相互理解および一体感の醸成。



- 久世フレッシュ・ワンとの共同営業
- グループ採用強化と人的交流の推進



# ご清聴ありがとうございました

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告無しに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は他の方法により入手された情報とも照合確認し、使用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先

株式会社久世  
経営戦略推進室

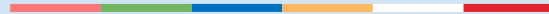
〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-34-13

T E L : 03-3987-0240 F A X : 03-3971-3199

E - m a i l : [ir-hp@kuze.co.jp](mailto:ir-hp@kuze.co.jp)

【HP】 <https://www.kuze.co.jp/>

# appendix



# SDGsの取り組み

久世は食を通じ、持続可能な世の中を目指します。

## 食品ロス削減・食材支援

### ■賞味期限切れによる廃棄削減

各センターの在庫管理を徹底し、賞味期限切れによる商品の廃棄削減に努めています。

### ■児童施設などへの食材提供

こども食堂や貧困家庭を支援しているNPO法人等へ当社のオリジナル商品を提供しています。



## 教育・福祉

### ■パラリンアート支援

パラリンアートの賛助会員として障がい者アーティストの経済的な自立支援をしています。

### ■がん研究会への支援

本社に設置されている自動販売機の売上の一部をがん研究会に寄付しています



### ■資格支援制度の充実

食に関する資格はもちろん、自己啓発で資格取得を目指す社員を支援しています。

### ■各種勉強会・研修の実施

社内では商品知識向上のための勉強会や、取引先の工場視察や研修などを実施しています。



## 環境への対応

### ■労働環境などを考慮した輸入商品開発

担当バイヤーが仕入ルートや労働環境を含めて、確認・視察しながら輸入商品の開発を実施しています。

### ■PB商品の少量パッケージ化

自社で開発しているPB商品は1kgなどの大容量だけでなく、500gなどの規格商品のラインナップを増やしています。また、短時間で解凍できる冷凍デザート商品など必要な時に必要な分だけ使用できる商品を取り揃え、外食産業のロス削減に貢献しています。



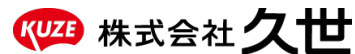
# 会社概要

## 会社概要

|                |  |
|----------------|--|
| 社名             | 株式会社 久世  |
| 代表者            | 代表取締役社長 久世真也   |
| 所在地            | 東京都豊島区東池袋  |
| 創業             | 1934年（昭和9年）4月  |
| 設立             | 1950年（昭和25年）1月   |
| スタンダード<br>市場上場 | 2001年（平成13年）9月（旧：JASDAQ）                                   |
| 資本金            | 1億円  |
| 売上高            | 564億円（2023年3月期連結）  |
| 事業内容           | 業務用食材卸売業<br>・ 外食産業向け業務用食材及び資材販売<br>・ メニュー提案<br>・ 食材のカタログ販売 |
| 事業所            | 本社、4支店、9営業所、6物流拠点  |

## 久世グループ

### ● 卸売事業



株式会社 久世

### ● 製造事業



キスコフーズ株式会社



キスコフーズ・インターナショナル・リミテッド

### ● 生鮮事業



株式会社久世フレッシュ・ワン



旭水産株式会社

### ● 中国事業



久华世（成都）商贸有限公司



上海日生食品物流有限公司